

眼科

I 経験、習得すべき事項

(1) 経験すべき症状

視力障害	視野障害	眼痛	充血
------	------	----	----

(2) 経験すべき疾患、病態

屈折異常	網膜変性疾患（網膜色素変性症、加齢黄斑変性など）	緑内障
白内障	糖尿病、高血圧、動脈硬化による眼底変化を代表とする眼循環障害、虚血性疾患	網膜剥離
角結膜炎	ぶどう膜炎を代表とする炎症性疾患	視神経炎

II 当診療科における研修の特徴

下記に掲げた研修目標に従って自己評価及び指導医評価を行う。その評価結果をもとにして、研修医は到達目標を達成するよう努力し、指導医は到達目標を達成するよう援助する。

臨床研修評価項目	A：到達目標に達した
	B：目標に近い
	C：目標に遠い

- 1) 眼科検査法、眼科器械が正しく行える。
- 2) 眼科点眼薬を正しく使用できる。
- 3) 倒像鏡での眼底検査ができる。
- 4) 視神経乳頭の異常を指摘できる。
- 5) 糖尿病、高血圧の眼底病変を正しく判定できる。
- 6) 白内障の術前検査、術後ケアができる。
- 7) 眼科治療が理解できる。
- 8) 症例検討会、抄読会に参加して、眼科疾患について理解できる。